

第5回江南市行政事業検討委員会議事録

日 時 平成30年 10月3日 (水) 午後3時30分～午後4時45分

場 所 市役所 3階 第3委員会室

出席者 横山 幸司、武長 脩行、澁谷 威是、水野 裕子、古田 智子、村尾 真理

傍聴者 なし

資 料 次第

資料1 江南市行政事業レビューの結果に関する意見書 (案)

資料2-1 江南市行政事業レビューアンケート結果 (傍聴者)

資料2-2 江南市行政事業レビューアンケート結果(判定員・市民評価員)

1 議題 (1) 行政事業レビューの結果に関する意見書 (案) について

- ・ 資料1に基づき事務局から説明した。
委員からの意見をもとに、意見書 (案) の表現方法を一部修正した。

2 議題 (2) アンケート結果について

- ・ 資料2-1及び2-2に基づき事務局から説明した。
- ・ 質疑応答は以下のとおり。

(委員長) 評価・判定において、今年度は市民評価員票を2票加える改善を行うことができた。他自治体では、判定員と市民評価員の票を合わせて判定しているところもあるので、検討の余地がある。

(委員) アンケート結果にあるように、今回判定した事業について、その後の具体的な取組を広く周知していくことは重要である。

(副委員長) 今後事業の見直しはどのように進めていくのか。

(事務局) 委員会から提出いただいた意見書を、市の幹部会で報告する。
また、意見書の内容を踏まえ、各所管課において事業の見直し方針を作成し改善に取り組むとともに、その内容を広報やホームページで周知する。

(委員) アンケート結果から、傍聴者を含め事業の判定について様々な意見があることに気付かされた。

(委員) 市民評価員に対し事前説明会等で丁寧に説明し、事業に対して理解を深めたいので参加してもらったほうがよい。

- (委員) 対象事業の選定をするにあたり、事業に対する市民の考えを知ることも必要である。事前にアンケート調査を実施すれば、行政事業レビューで取り上げるべき事業かどうかを判定する一つの目安にもなる。
- (副委員長) 実施方法を毎年改善することはよいことだが、数年間は同じ形式で実施しないと効果が見えにくいこともある。
- (委員長) 対象事業の選定は、レビューの実施回数を重ねるほど難しくなってくる。市民公開型の行政事業レビューは、市民に広く周知できるメリットがある一方で、より専門的な議題をテーマにしにくいといったデメリットがある。市民公開型ではない行政事業レビューを実施し効果を上げている自治体もあるため、今後の参考にしてほしい。

2 その他

- ・特になし